

ナースインホームひまわり 伊藤きよみ

功 績	新たにナースインホームひまわりケアマネジャー業務にチャレンジ、業務の習熟と同時に利用者稼働にも注力、開設後初めての登録者数満員を記録し事業所目標・収入にも大きく貢献した功績。
推 薦 者	在宅部長 大友 悠平
推 薦 理 由	看護小規模多機能は通い・訪問・泊まりが一体となった地域密着型事業であり、一般的な居宅介護支援や施設のケアプランとは異なり、在宅と施設形態の中間地点の複雑なプランや請求が必要となっております。登録者数の維持には限られたベッド数をうまく回転出来るように、在宅と泊まりの数字コントロールが必要です。そうした背景から特にケアマネジャーが定着しにくいポジションでした。今回、未経験でも挑戦し、他の職員の力を借りながらではありますが結果が出た事は理事長賞に値すると考え推薦いたします。

内 容

昨年末にナースインホームひまわりでケアマネジャー交代の機会がありました。ひまわり内部で後任ケアマネジャーを募集、その際にすでに現場で介護福祉士として勤務していた伊藤が候補者として挙がりました。伊藤は開設当初から勤務し、在職中に”介護支援専門員”の資格を取得しておりましたが、ケアマネジャー業務は未経験でした。この度、普段の業務に対する真面目な姿勢や開設から現場で培った経験がある事から後任のケアマネジャーに抜擢、本人はチャレンジする事に不安が強かった状態ですが、意を決して挑戦することとなりました。

最初は実際に勤務してみると業務内容の違いから戸惑いが見られましたが、ナースインホームひまわりの所長やひまわり内部の中央介護支援センター所長、他のケアマネジャー等に積極的に確認・相談を行い、時には介入してもらいながらも業務をこなしてゆき、前向きに励んでおりました。また、ご利用者の立場、ご家族の立場に立ってケアプランを作成し、双方のニーズを満たすためのプランニングに思考錯誤しながら取り組んでいました。

ナースインホームひまわりでは2015年の開設以来、過去の最大登録者数は27名までとなっており、満員の29名には至った事はありませんでした。伊藤は正式な異動前から業務の習熟に努め、同時に新規の相談に取組、2022年4月には開設以来初めてとなる登録者29名の満員を記録することが出来ました。これまで課題となっていた紹介元へのレスポンス向上と現場のスタッフの柔軟な受入れ対応の二つが相乗した結果となります。

現在もまだケアマネジャーとしての経験は十分ではありませんが、必要に応じて確認・相談を徹底して取り組んでおります。今回の満員達成から事業所目標が高まり、常に待機者がいる状態を目指すなど大きくレベルアップし、同時に収入に大きく貢献することにもつながっております。